

# 魅力あるまちづくりの主役は、このまちを思い愛する市民みんなです。

野々市市 市民協働の方程式(基本理念)

**自発心** × **連帯感** × **創造力** = ののいちキャンパス

この市民協働の方程式は、「自発心」、「連帯感」、「創造力」のいずれが欠けても理想の野々市市(ののいちキャンパス)を実現させることはできないことを表しています。市民一人ひとりの思いがみんなの夢(目標)へとつながり、その夢(目標)を実現するために行動することが、未来をつくる原動力になるのです。

住みよいまち、元気なまちを  
みんなで創る。

## ■成長のための協働体制

(市民協働を続けるための仕組み)

- 市民協働のまちづくり市民会議と行政は、指針に基づく施策の展開により、協働の主体に対する支援・情報提供を協働で行います。
- 行政は、市民協働推進本部の機能を強化するため、各課に「協働担当者」を配置し、継続して「市民協働ワーキンググループ」を育成します。
- 市民協働のまちづくり市民会議は、協働の具体的施策の効果などを適宜評価し、この指針の見直しについて、行政へ随時提案し協議を行います。

## ■市民協働に取り組む基本方針

「自発心」、「連帯感」、「創造力」を十分に成長させるため、以下の3つの基本方針で取り組んでいきます。

### 1 基本方針 自発心の育成

「だれかに言われたから行動する」、「私が行動しなくてもだれかがしてくれるだろう」と他人任せにするのではなく、野々市市に住む人、働く人、学ぶ人、あらゆる市民が「自分たちのまちは自分たちがつくる」という自発的な姿勢で臨むことから始まります。

#### ■人づくり

協働を理解し、主体的に行動できる人を養成します

#### ■意識づくり

協働の意義や必要性について広く啓発活動を行います

#### ■きっかけづくり

思いのある市民が行動するきっかけをつくります

### 2 基本方針 連帯感の醸成

市民一人ひとりが自分の思いを発信し、学び、行動し、お互いに連携し合うことで、個人では解決できなかった課題を解決することができます。そのためには、市民、町内会、各種団体、企業、行政それぞれにおいて、お互いの意見や立場を尊重し連帯することが大切です。

#### ■仕組みづくり

さまざまな人や組織が協働事業に取り組む仕組みをつくります

#### ■風土づくり

あらゆる人や組織がお互いのことを理解・尊重し合う風土をつくります

#### ■絆づくり

多様な人や組織がネットワーク化することを支援します

### 3 基本方針 創造力の向上

変化する時代や地域のニーズを捉えながら効果的に活動するためには、さらに創造力にあふれ、いつまでも続く取り組みとなるよう成長し発展しなければなりません。

#### ■人材づくり

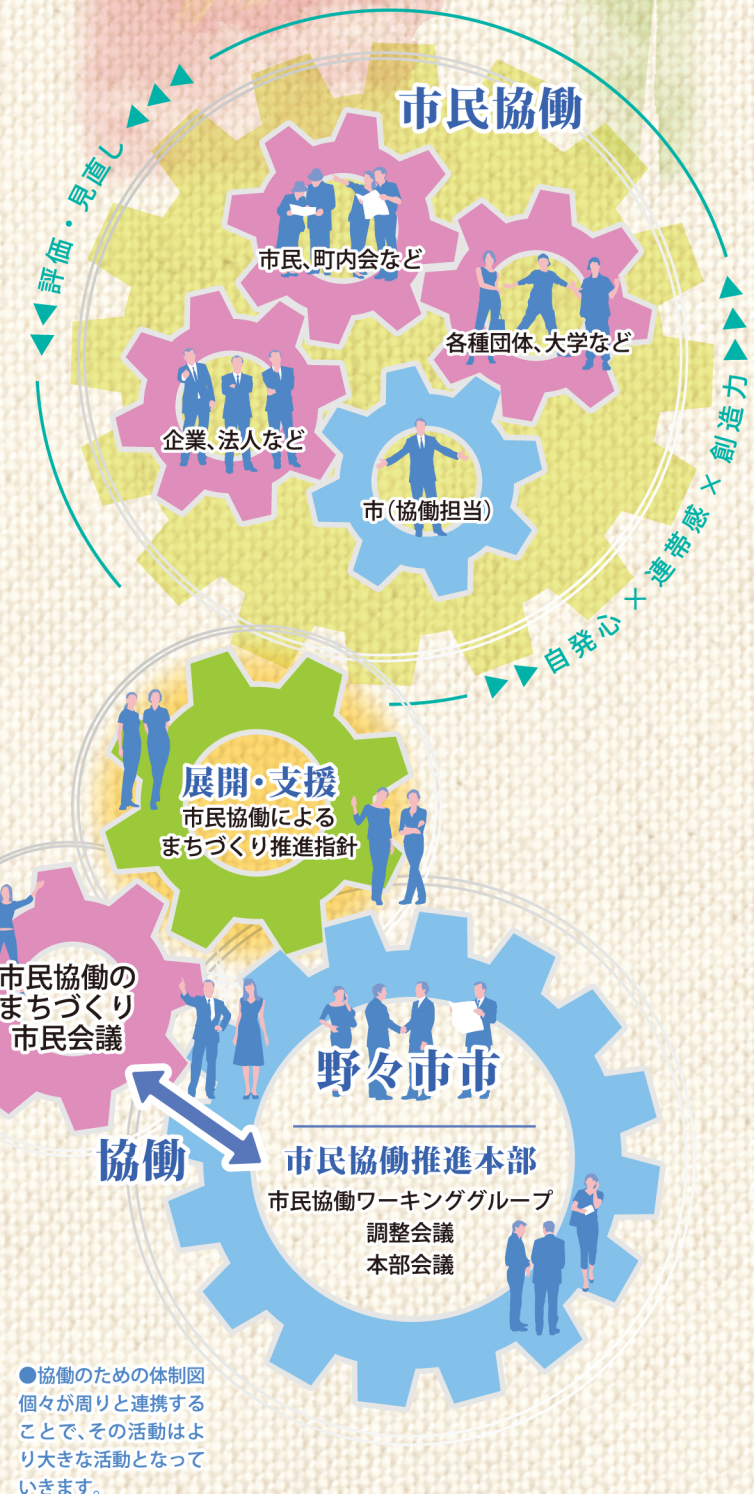
市の将来を担う人材を育成します

#### ■場づくり

活発な意見交換ができる場をつくります

#### ■空間づくり

他にはない創造力あふれた地域をつくります



●協働のための体制図  
個々が周りと連携することで、その活動はより大きな活動となっていきます。